

KAWAI

ANYTIME

AK-01

取扱説明書

このたびKAWAI消音ピアノAK-01をご購入
くださいますと、誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただく
ためにも、この取扱説明書をよくお読みいただき、
大切に保管してくださいませようお願い申し上げます。

目 次

1. 特長	1
2. 安全上のご注意	2
3. 各部の名称	6
4. 使用方法	8
5. デモ演奏を聴く	9
6. 音色設定	10
7. 録音と再生	12
7-1 録音	12
7-2 再生	13
8. エフェクト、トランスポーズ設定	15
9. メトロノームを使う	17
10. 設定と調整	19
10-1 タッチ調整	20
10-2 黒鍵音量調整	21
10-3 各鍵音量調整（左44鍵盤）	22
10-4 各鍵音量調整（右44鍵盤）	23
10-5 チューニング	24
10-6 鍵盤深さ設定	25
10-7 ペダル調整	26
10-8 鍵盤連打設定	27
10-9 センサー調整	28
10-10 設定を初期化する	29
11. スマートフォン接続	31
11-1 iPhone接続	31
11-2 Android™接続	33
12. USB	36
13. Bluetooth® MIDI	37
13-1 MIDIインプリメンテーションチャート	38
14. 本体仕様	39
15. 困ったときは？	40
16. 末永くご使用頂くために	42

1. AK-01の特長

- リアルで高音質な音色やアコースティックピアノに近いタッチ感を再現し、お手持ちのアコースティックピアノに後付けできるピアノ消音機です。
- スマートフォンと無線で接続ができます。
 - ・録音/再生、メトロノーム、音色選択などの操作がiPhone、iPad、Androidの画面で見やすく簡単に行えます。
 - ・演奏データをAK-01からiPhone、iPad、Androidに転送することができ、メールでお友達に送ることや、新たな演奏データを取り込んでAK-01で再生することもできます。
 - ・スマートフォンに取り込んだ演奏データは、iTunesやファイルエクスプローラなどでファイル管理が可能です。
- Bluetooth MIDI規格に対応し、無線でMIDIデータのやり取りができます。
- 市販のUSBケーブル(A-miniB)にてパソコンと接続ができます。パソコン接続により、本機はMIDI音源やMIDIキーボードとして使用可能です。
- 鍵盤の浅い位置から深い位置まで幅広い範囲で発音しますので、よりアコースティックピアノに近いタッチを実現しています。
- 浅い位置や深い位置の高速なトリル奏法やスタッカートが可能です。
- 打鍵の強弱による発音タイミングの違いをアコースティックピアノに近い発音で実現しています。
- 押されている鍵盤の弦の共鳴やダンパーペダルを踏み込んだときの弦の共鳴を再現していますので、豊かな響きを楽しめます。
- ピアノッシモからフォルテッシモまで幅広い音量変化を表現します。
- ダンパーペダルはプロポーションに対応しています。
- お手持ちのピアノの状態に合わせてタッチや連打の調整が可能です。
- ボタン操作で8音色、その他鍵盤操作で88音色を選択できます。専用アプリケーションでは最大128音色を選択できます。
- 内蔵のメトロノームに合わせて演奏ができます。
- 演奏の録音、再生が可能です。また、再生速度の変更も可能です。
- 演奏しない時間が一定時間あった場合、自動で電源をオフする機能があります。
(専用アプリケーションで設定可能)

2. 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。小さなお子様がいる場合は、保護者の管理の元、安全にお使いください。

●警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容が記載されています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



⚠記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



🚫記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



📌記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告



電源は必ずAC100Vを使う

- ・電圧の異なる電源を使用しないでください。
- ・発火の恐れがあります。

100V以外禁止



ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

長時間使用禁止



付属のACアダプタと電源コードは本機でのみ使用する

- ・付属のACアダプタ/電源コード以外を本機で使用しないでください。

本機専用



本機を分解、修理、改造しない

故障、感電、ショートの原因になります。

分解禁止



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグ部分を持つ



電源コードやACアダプタのコードは、無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけない。

コードが破損し、発火、感電、故障の恐れがあります。



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の恐れがあります。

濡れた手で触らない



水がかかる場所で使用したり、水に濡らす(つける、かける、こぼす)などしない

漏電によって、感電や発火の原因になります。



本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
 - 戸外など極端に温度の低い場所
 - 極端に湿度の高い場所
 - 砂やホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
- 故障の原因になります。

使用禁止



照明用のろうそくなど裸の火を機器の上に置かない



本機の内部に異物を入れないようにする

液体、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

異物を入れない



本機を落としたり、強い衝撃を加えない

- ・怪我および破損の恐れがあります。

落とさない

- ・運搬の際は、必ず2人以上で運んでください。

⚠ 注意



プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。



ゆっくりしめる

鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切つて行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



もたれない

本機の鍵盤にもたれない

本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。



他電気機器
から離す

テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

- ・本機が雑音を発する恐れがあります。
- ・本機が雑音を発したら、他の接続機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。



からまない
ようにする

電源コード、接続コード類はピアノ本体で踏んだりからまないように接続する

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



電源プラグはすぐに抜くことができる状態にしておく

本機は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグはすぐに抜くことができる状態にしておいてください。



ベンジン/シンナー
禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

- ・色落ちや、変形の原因になります。
- ・清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから軽く拭いてください。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

ヘッドホン使用時は、構造上打鍵音が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●保証書について

- ・本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
- ・保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

●修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。

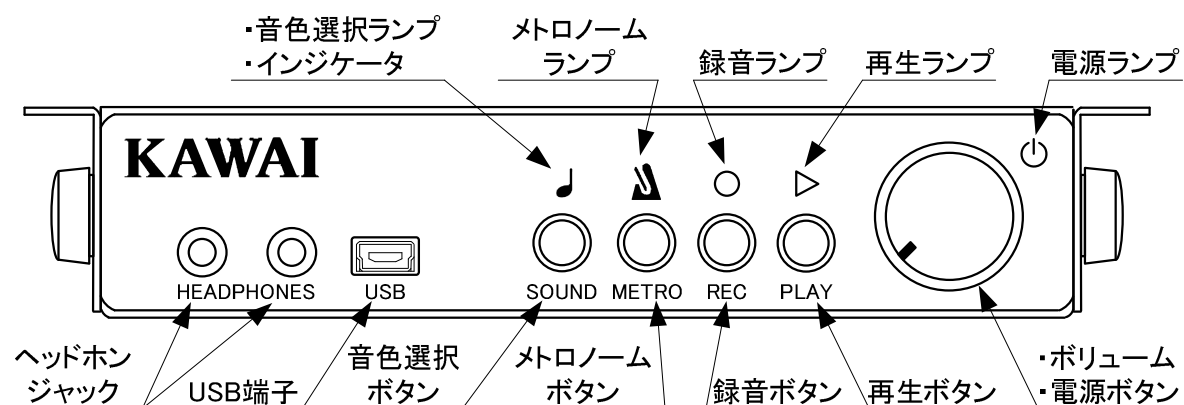
●知的財産権について

- ・ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。



- ・ iPhone/iPad/iTunes/Macは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。
- ・ Androidは、Google LLC. の商標です。
- ・ MIDIは、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- ・ Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- ・ その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、著作権法上、権利者に無断で個人的に又は家庭内その他これに準ずる範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

3. 各部の名称



音源BOX前面

ボリュームと電源ボタン

電源ボタン

電源のオン/オフを行います。

注意! ご使用後は必ず電源をお切り下さい。

ボリューム

ヘッドホンの音量、ライン出力の音量を調節します。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。

電源ランプ (⏻)

電源がオンになっているとランプが点灯します。また、スマートフォンと接続している場合は点滅します。

ヘッドホンジャック (HEADPHONES)

ヘッドホンを接続します。同時に2つのヘッドホンが使用できます。

USB端子 (USB)

USBケーブルを使用してパソコンと接続できます。

音色選択ボタン (SOUND)

発音する音色を選択します。

ピアノ、ブライトピアノ、メローピアノ、エレクトリックピアノ 1、エレクトリックピアノ 2、ハープシコード、チャーチオルガン、パーカッシブオルガン

音色選択ランプとインジケータ (♪)

音色選択ボタンを押して音色を変更したときや発音したときに点滅します。

メトロノームボタン (METRO) ・メトロノームランプ (M)

メトロノームボタン

メトロノームの設定、開始、停止するボタンです。

メトロノームランプ

メトロノームの動作中、設定中をランプで表示します。

再生ボタン (PLAY) ・再生ランプ (P)

再生ボタン

録音曲の再生やデモ曲の再生を開始、停止するボタンです。

再生ランプ

再生中をランプで表示します。

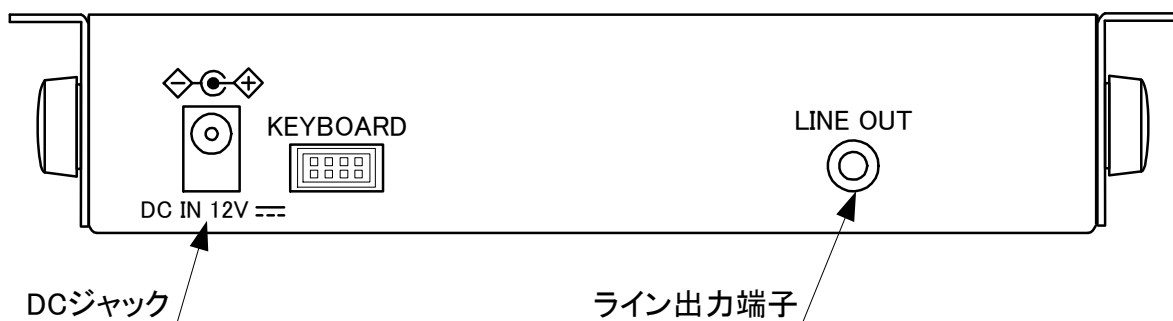
録音ボタン (REC) ・録音ランプ (R)

録音ボタン

録音を開始、停止するボタンです。

録音ランプ

録音中をランプで表示します。



音源BOX背面

DCジャック

付属のACアダプタを接続します。

注意! 付属品以外のACアダプタは、絶対に使用しないで下さい。

ライン出力端子

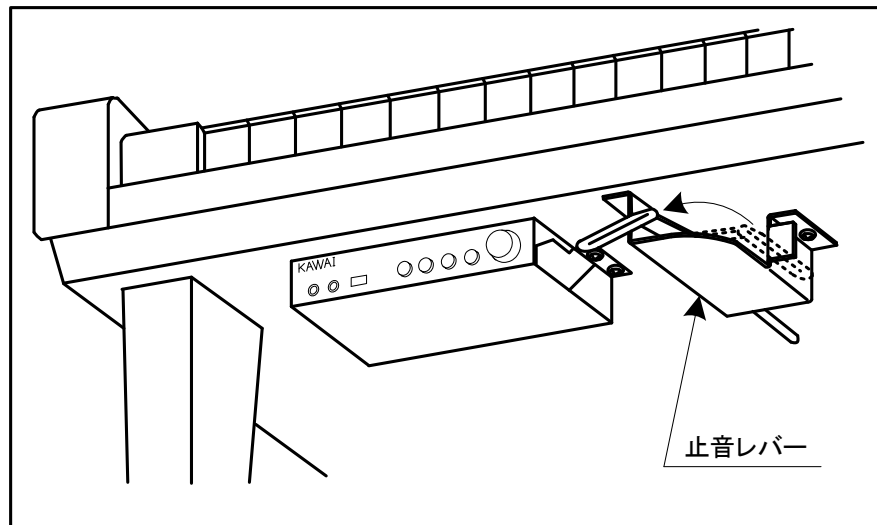
音源BOXの音を外部オーディオ機器へ出力します。

音源BOX前面にあるボリュームにて出力レベルを調節できます。

4. 使用方法

本製品は、取り付け完了後に初期設定を実施しなければ、正常に動作致しません。鍵盤やペダルの移動量はセンサーを取り付ける場所で異なりますので、その取り付け場所に最適な鍵盤の発音位置やペダルのオン／オフの位置決めを初期設定で自動的に行います。尚、初期設定は取り付ける技術者や調律師が行います。

- (1) ピアノの実音を消すときは、止音レバーを手前に引きます。元に戻すと、通常のピアノ演奏ができます。



止音レバー

- (2) ACアダプタがコンセントに差し込まれていることを確認して下さい。
- (3) ボリュームつまみが最小であることを確認して、電源ボタン(ボリュームつまみ)を押して電源をオンにします。
電源をオンする際、センサーを最適化しますので、鍵盤やペダルには触れないようにして下さい。
- (4) ヘッドホン(付属)をヘッドホンジャックへ接続します。
- (5) 音色選択ボタンで好みの音色を選択します。
- (6) ボリュームをお好みの位置に合わせヘッドホンで演奏をお楽しみ下さい。
ダンパーペダルのみハーフペダルに対応しています。
- (7) スマートフォンをお持ちの方は、音源BOXと無線接続(P. 32 スマートフォン接続を参照)することで、簡単に操作や設定がiPhone/iPad/Android端末から可能になります。

5. デモ演奏を聴く

音源BOXには生演奏を収録したデモ曲が10曲入っています。

曲順	曲名	作曲者
1	プレリュード(平均律第1巻 第1番)	J. S. バッハ
2	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン
3	月光(第一楽章)	L. v. ベートーヴェン
4	Shenandoah	アメリカ民謡
5	Danny boy	アイルランド民謡
6	I love you, porgy	ジョージ・ガーシュイン
7	Someday my prince will come	フランク・チャーチル
8	All the things you are	ジェローム・カーン
9	Someone to watch over me	ジョージ・ガーシュイン
10	My wild irish rose	チャンセラー・オルコット

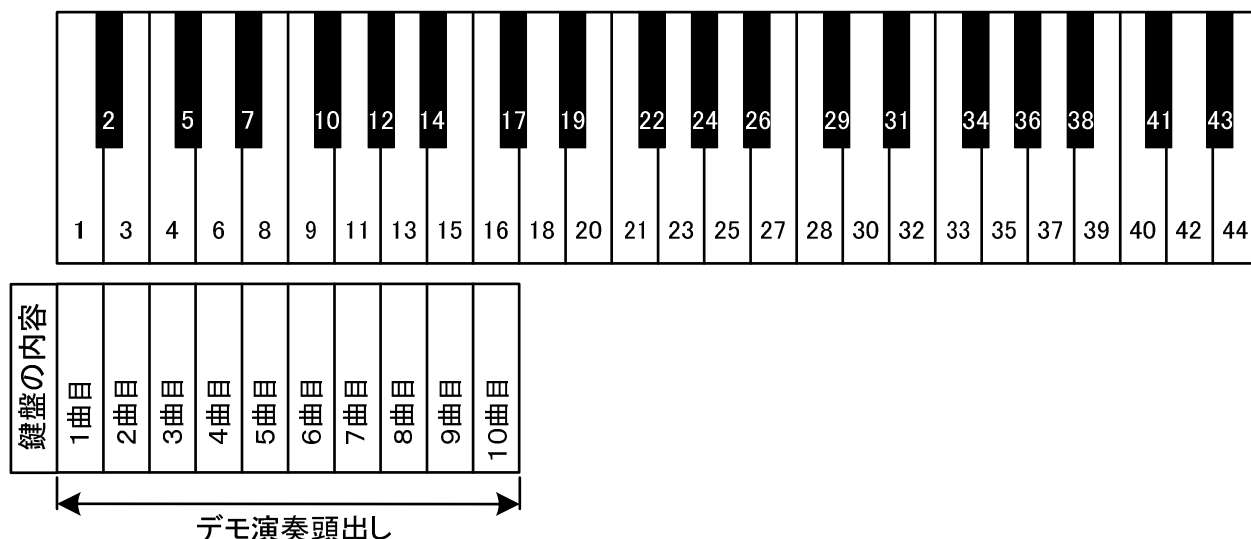
設定方法

- (1) 再生ボタンを長押しすると、再生ランプが点滅します。
- (2) 再生ランプの点滅後、1曲目から順に演奏を開始します。
デモ演奏中は下記鍵盤を押すことにより、曲を選択することができます。
- (3) デモ演奏を終了する時は、再生ボタンをもう一度押して下さい。

注意!

デモ演奏中に下記の曲選択鍵盤以外を押すことで、全鍵盤での演奏が可能になりますが、曲の選択はできなくなります。再び曲を選択したい場合は、デモ演奏を終了して(1)の手順から再度行ってください。

鍵盤左端



6. 音色設定

音色選択ボタンの操作では8種類の音色を素早く設定することができます。鍵盤の操作では88種類の音色を設定することができます。また、専用アプリケーションを使用するとさらに多くの音色を設定することができます。

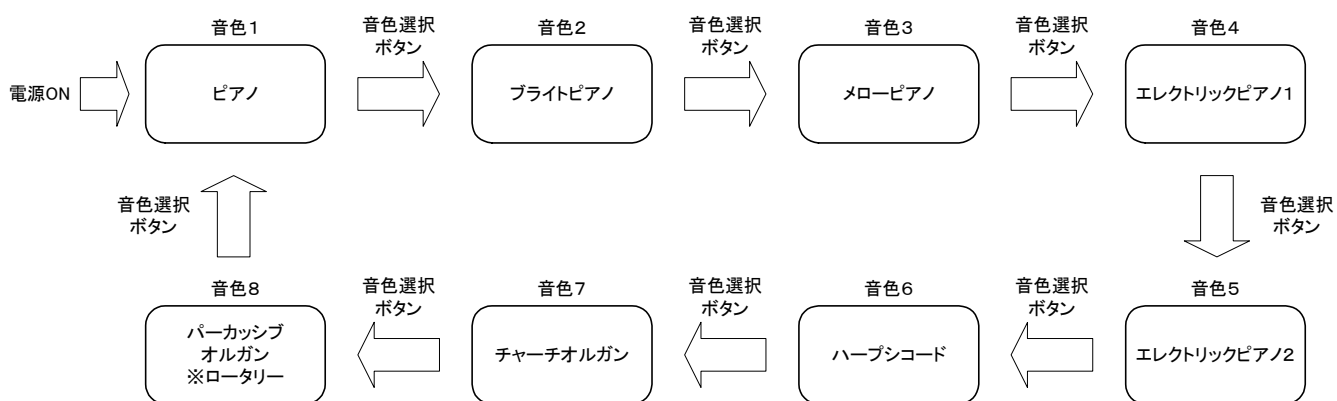
音色の中にはエフェクトが初めから設定されているものもあります。

専用アプリケーションを使用すると、音色選択ボタンの操作で切り替えられる音色を他のものに変更することもできます。

音色選択ボタン設定方法（8音色からの選択）

音色選択ボタンを押す度に、音色が変化します。

ピアノ → ブライトピアノ → メローピアノ → エレクトリックピアノ1 → エレクトリックピアノ2 → ハープシコード → チャーチオルガン → パーカッシブオルガンの順番で変化し、ピアノに戻ります。



音色変更イメージ

鍵盤設定方法（88音色からの選択）

- (1) 音色選択ボタンを押したまま次頁鍵盤表より好みの音色を選択します。
- (2) 音色選択ボタンから指を離します。この時、選択した最後の音色が設定されます。

注意！

- ・ 設定した音色は電源を切ると1番目の音色に戻ります。
- ・ ロータリーのエフェクトがかかっている場合、ダンパーペダルは Slow ⇄ Fastの切り替え、ソフトペダルはSemi-Offになります。Semi-Off後、ダンパーペダルの操作でSemi-Off前のスピードで再開します。

ピアノ
ブライトピアノ
メロピアノ
ピアノ+ストリングス(Fast)
ピアノ+ストリングス(Slow)
ブライトピアノ+リハープ
エレクトリックピアノ1
エレクトリックピアノ2
ハーブシコード
チャーチオルガン
ウォームオルガン
パーカッシブオルガン
エレクトリックピアノ3
ホンキートンク
エレクトリックピアノ4
クラブネット
チェレスタ
グロッケン
オルゴール
ビブラホーン
サントウール
ドローバーオルガン1
ドローバーオルガン2
ロックオルガン
スモールチャーチオルガン
リードオルガン
フレンチアコーディオン
ハーモニカ
バンドネオン
ギター(ナイロン弦)
ギター(スチール弦)
エレキギター(ジャズ)
コーラスギター
オーバードライブギター
ディストーションギター
アコースティックベース
フィンガリングエレキベース
スラップベース
シンセベース
バイオリン
チェロ
トレモロストリングス
ハーブ
ストリングス

2
5
7
10
12
14
17
19
22
24
26
29
31
34
36
38
41
43

鍵盤左端

スローストリングス
ストリングス+ホルン
シンセストリングス
コーラス
コーラス2
シンセボーカル
トランペット
トロンボーン
チューバ
フレンチホルン
ブラス+トランペット
シンセブラス1
シンセブラス2
シンセブラス3
シンセブラス4
ソプラノサクソ
アルトサクソ
テナーサクソ
バリトンサクソ
イングリッシュホルン
バスーン
クラリネット
ピッコロ
フルート
リコーダー
バンフルート
オカリナ
シンセリード2(鯨歯状波)
シンセリード5(チャラング)
シンセリード6(声)
シンセリード8(ベース+リード)
シンセパッド2(ウォーム)
シンセパッド3(ポリシンセ)
シンセパッド4(人声)
シンセパッド5(ボウ)
シンセパッド7(ハロー)
クリスタル
アトモスフィア
ブライトネス
エコー
シタール
琴
バグパイプ
スチールドラム

46
48
50
53
55
58
60
62
65
67
70
72
74
77
79
82
84
86

鍵盤右端

7. 録音と再生

本体内に10曲まで録音と再生が行えます。連弾や反復練習などに便利です。

7-1 録音

使用方法

- (1) 録音したい曲番号の鍵盤を押しながら、録音ボタンを押します。
このとき録音ランプが点灯します。これで、録音の準備が完了しました。
- (2) 演奏を行います。演奏が始まると同時に録音を開始します。
- (3) 演奏が終了したら録音ボタンを押します。押すと同時に録音ランプが消灯して選択された曲番号に収録されます。
- (4) (1)の操作において、曲番号の鍵盤を押さなくても録音は可能です。
その場合、録音ボタンを押します。但し、自動的に曲番号1に録音されます。

録音データ消去

録音した内容は、曲番号を選択し、ダンパーペダルを踏みながら録音ボタンを押すことでチャイムが鳴り、消すことができます。また、「11-10設定を初期化する」を行われた場合、録音データは全て消去されます。

注意!

- ・ 曲数は10曲です。録音した曲番号に新たに録音操作を行うと前回の録音内容は消えてしまいます。
- ・ 録音中の音色選択ボタンによる音色切り替えはできますが、録音される音色は録音開始時に選択された音色になります。
- ・ メトロノームは録音されません。
- ・ 録音容量は1曲あたり約10,000音ですが、ペダル操作も含みます。
録音中に録音容量がいっぱいになると、録音は自動停止されます。
- ・ 録音した内容は電源を切っても保存されます。
- ・ アプリケーションから転送するMIDIファイルはフォーマット0のみです。それ以外は転送できません。また、ファイルサイズは最大約128kBです。

7-2 再生

使用方法

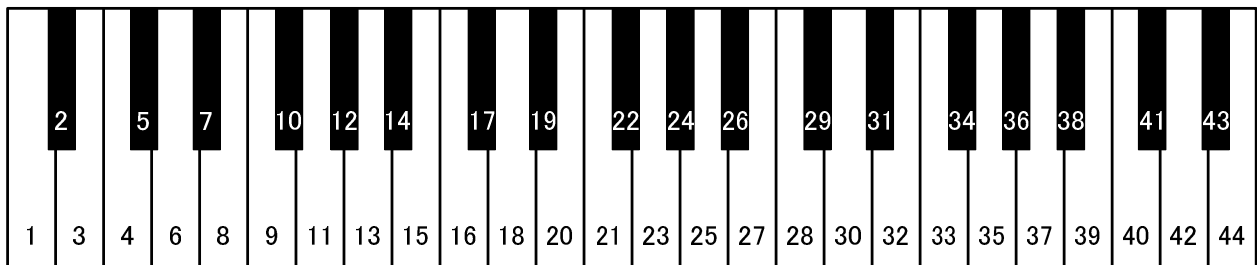
- (1) 再生ボタンを押すと、再生ランプが点灯して、約1秒後に演奏が再生されます。
この場合、曲番号1のデータが再生されます。再生中は下記鍵盤を押すことにより、曲番号を選択することができます。再生中も鍵盤からの演奏が可能です。
- (2) 再生を終了したい時は、再生ボタンをもう一度押します。
押すと同時に再生ランプが消灯して、再生が止まります。

注意！

- 再生中に曲番号選択及び変速エリアの操作部以外の鍵盤を押すことで、全鍵盤での演奏が可能になりますが、曲番号選択や変速再生の変更ができなくなります。曲番号選択をする場合は、再生を終了して(1)の手順から再度行ってください。
- 曲番号1にデータがない場合は演奏が再生されません。その他の曲を再生したい場合は、再生したい曲番号の鍵盤を押しながら再生ボタンを押します。

※再生速度0.5倍～2倍まで変更できます（次頁の変速再生をご覧ください）。

鍵盤左端



鍵盤の内容	曲番号1	曲番号2	曲番号3	曲番号4	曲番号5	曲番号6	曲番号7	曲番号8	曲番号9	曲番号10
	鍵盤による曲番号選択									

白鍵のみを使用して、10曲の曲番号を選択します

変速再生

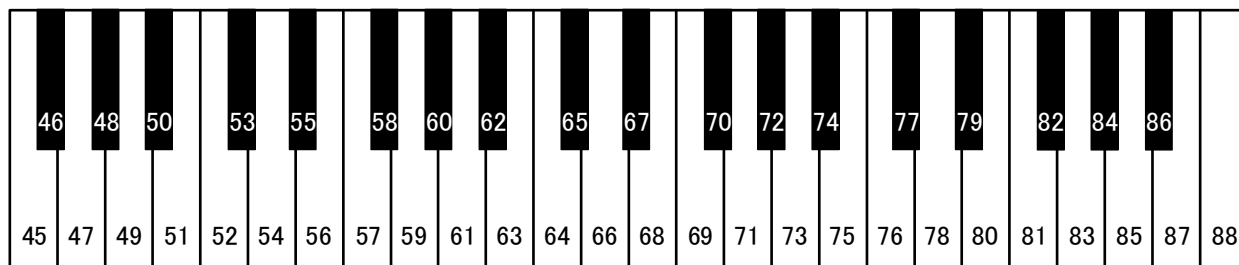
録音した演奏は再生速度を変えて聴くことができます。変速範囲は録音した演奏を標準として、0.5倍～標準～2倍まで±5段階です。

段階	-5	-4	-3	-2	-1	±0	+1	+2	+3	+4	+5	
速度	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	
	遅い	←————— 標準					—————→	速い				

設定方法

- (1) 再生ボタンを押して録音した演奏を再生します。
- (2) 下記鍵盤表の`変速エリア`よりアップ鍵盤、ダウン鍵盤を操作してお好みの速度で再生して下さい。

鍵盤右端



8. エフェクト設定、トランスポーズ設定

8-1 エフェクト設定

エフェクト設定では以下の設定ができます。

- ① リバーブ : 種類（ルーム・ホール）と深さを設定
- ② コーラス／ロータリー : コーラス、ロータリー、ディレイの選択
／ディレイ : コーラスとディレイは深さの設定ができます。

リバーブ : リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。ルームは室内での演奏時の残響を再現した効果です。ホールはコンサートホールでの演奏時の残響を再現した効果です。

コーラス : 原音にピッチのゆらぎを持つ音をあわせることにより、音に広がりを加える効果です。

ロータリー : ロータリー(回転式)スピーカによる音の変化を再現した効果です。Slow ⇄ Fastの切り替えはダンパーペダルで行います。ソフトペダルはSemi-OFF(一時停止)になります。

ディレイ : 音にやまびこのような反響を加える効果です。

設定方法

- (1) 音色選択ボタンを押しながらメトロノームボタンを押します。
設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、2つのボタンは押さえたまま次の操作に移ります。
 - (2) 次頁鍵盤表より`リバーブ`又は`コーラス／ロータリー／ディレイ`のどちらかから好みの設定を選択します。
 - (3) リバーブ、コーラス、ディレイを選択した場合は効果の深さの変更が可能です。但し、ロータリーを選択した場合はレベル変更できません。
- 注意!** 効果の深さ(レベル)だけを変更したい場合でも、エフェクトの種類(リバーブ/コーラス/ディレイ)を選択してからレベルを設定してください。
- (4) 2つのボタンから指を離します。この時、(3)で選択した状態が設定されます。
 - (5) (2)の操作で右端にある★印の鍵盤を押すことで標準値にリセットされます。

注意!

- ・ロータリーを選択するとダンパーペダルでSlow ⇄ Fastの切り替え、ソフトペダルでSemi-Offができるようになりますが、ペダル本来の機能はなくなります。
- ・(5)の操作ではトランスポーズ設定もリセットされます。
- ・電源を切ると設定値は初期値に戻ります。
設定を保存したい場合は、アプリのユーザープリセット機能をご使用下さい。

8-2 トランスポーズ設定

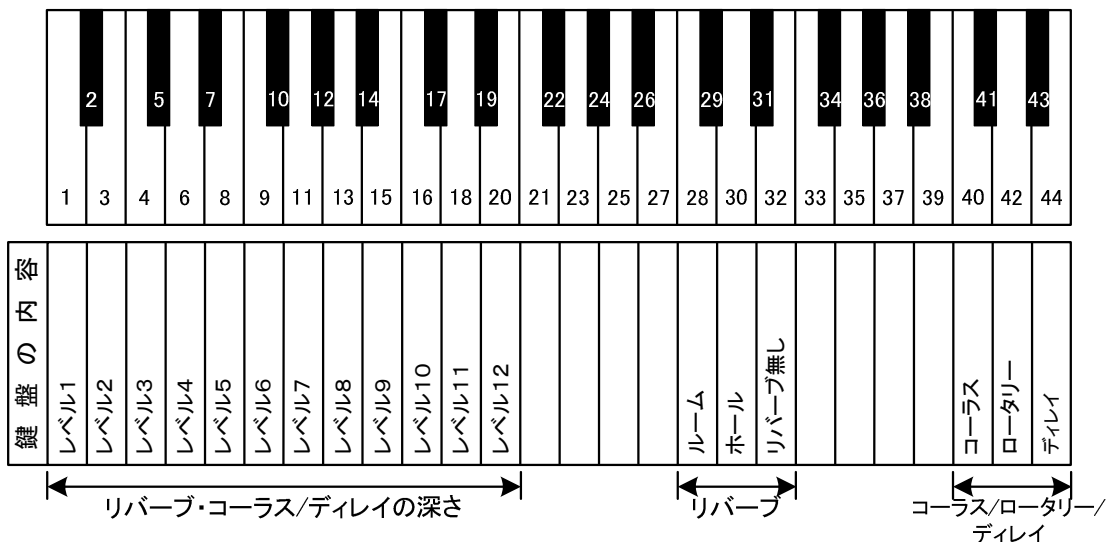
トランスポーズ設定は半音単位で移調ができます。設定範囲は2オクターブです。

設定方法

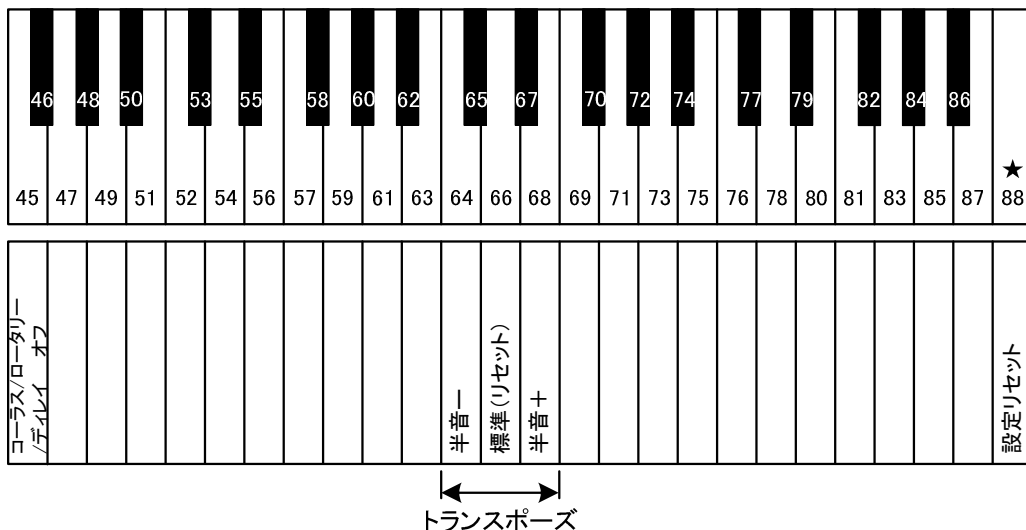
- (1) 音色選択ボタンを押しながらメトロノームボタンを押します。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、2つのボタンは押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より好みで半音-、半音+を選択します。選択する毎に半音ずつ移調されます。
設定をリセットする場合は、標準を選択します。
- (3) 設定が終了したら、2つのボタンから指を離します。

注意! MIDI出力にはトランスポーズ設定は反映されません。

鍵盤左端



鍵盤右端



9. メトロノームを使う

メトロノーム音のON/OFF、拍子やテンポ、メトロノームの音量といった各設定を行います。

メトロノームを鳴らす／止める

- (1) メトロノームボタンを押すとメトロノームランプが点灯して、メトロノームが鳴り始めます。
- (2) メトロノームボタンをもう一度押すと、メトロノームランプが消灯して、メトロノームが止まります。

メトロノームの設定

- (1) メトロノームの設定を変えるには、メトロノームボタンを長押しします。メトロノームランプが点滅し、設定モードになったことをお知らせします。ボタンから手を離しても点滅を続けます。
- (2) 次頁鍵盤表の`拍子エリア`から対応する拍子の鍵盤を押して選択します。
- (3) 次頁鍵盤表の`テンポエリア`からテンポを設定します。テンポの設定方法は、テンポエリアに割り付けられている数字を3ケタ入力します。設定できるテンポは30~250の範囲です。

・例1 テンポを132にしたい！

↓
初めに1を選択。
↓
次に3を選択。
↓
最後に2を選択。

・例2 テンポを60にしたい！

↓
初めに0を選択。
↓
次に6を選択。
↓
最後に0を選択。

(テンポは30~99までは初めに0を押します)

- (4) 次頁鍵盤表の`音量エリア`からメトロノームの音量を選択します。音量は5段階で設定できます。
- (5) もう一度メトロノームボタンを押すと、メトロノームランプが点滅から点灯に変わり、設定が確定されます。尚、メトロノーム音は鳴り続けます。

注意！

- ・設定した内容は電源を切っても保持されます。
- ・テンポの選択で範囲外を選択した場合は無効になり、設定されません。

10. 設定と調整

ANYTIME AK-01は必要に応じて設定を変更することができます。

注意!

取り付け完了後、調律師の方がお客様のピアノに合わせて設定の変更を行います。また、P. 30「10-10 設定を初期化する」を実施されますと、正常に動作をしなくなりますので、ご自身で設定を変更される場合や、初期化をされる場合は、事前にお買い上げ店へご相談下さい。

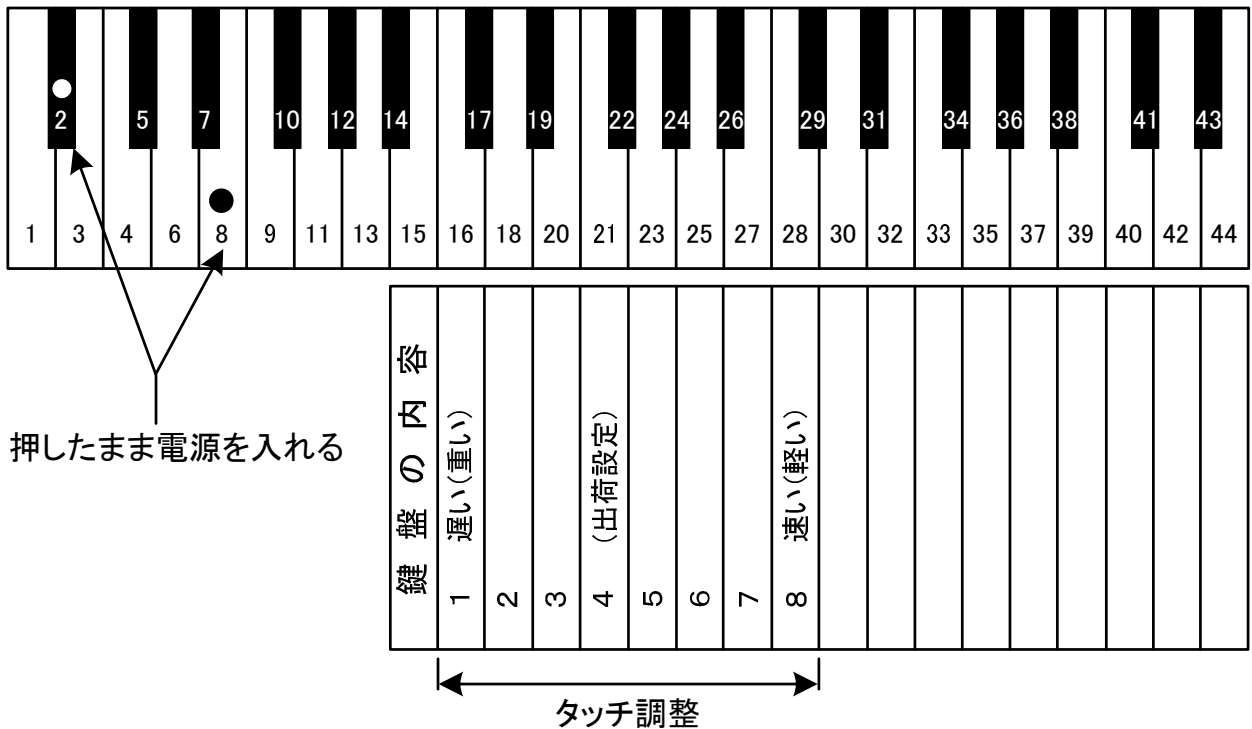
10-1 タッチ調整

お手持ちのピアノの弾き心地に合わせて調整して下さい。目安として鍵盤が重い場合は1~3を、軽い場合は5~8に合わせます。

設定方法

- (1) ○印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。調整モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印と●印の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より、適切なタッチ感になる`タッチ調整`を選択します。
- (3) タッチ調整の選択が終了したら、○印と●印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択したタッチ調整に設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



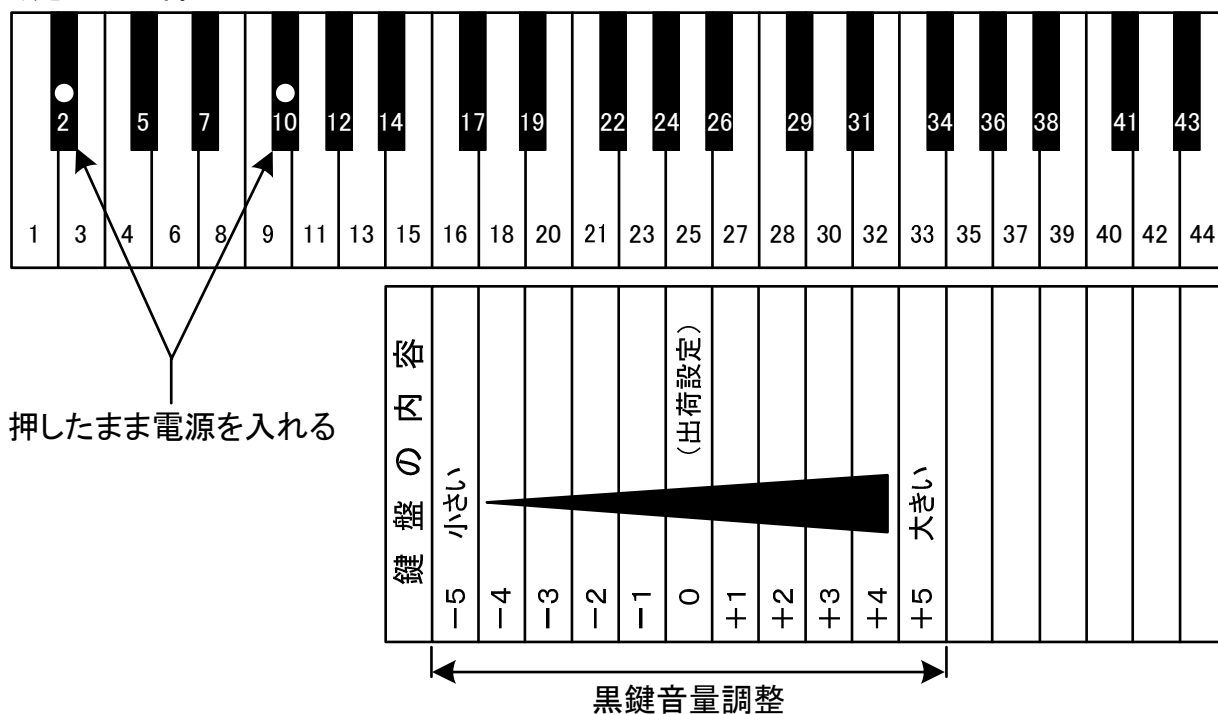
10-2 黒鍵音量調整

白鍵と黒鍵の音量バランスを調整することができます。

設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押したままで次に操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より、白鍵音量に合った`黒鍵音量`を選択します。
- (3) 黒鍵音量の選択が終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した黒鍵音量に設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



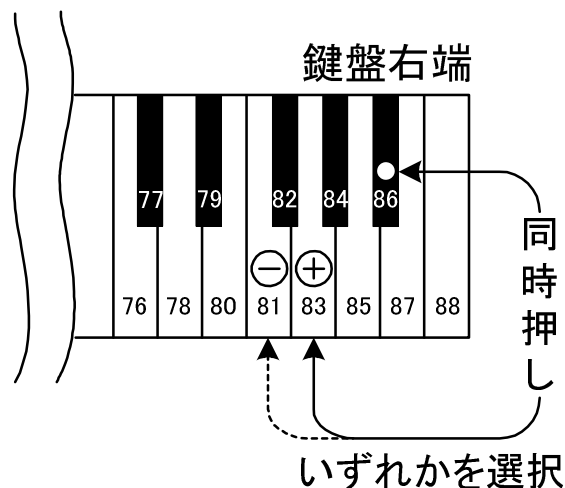
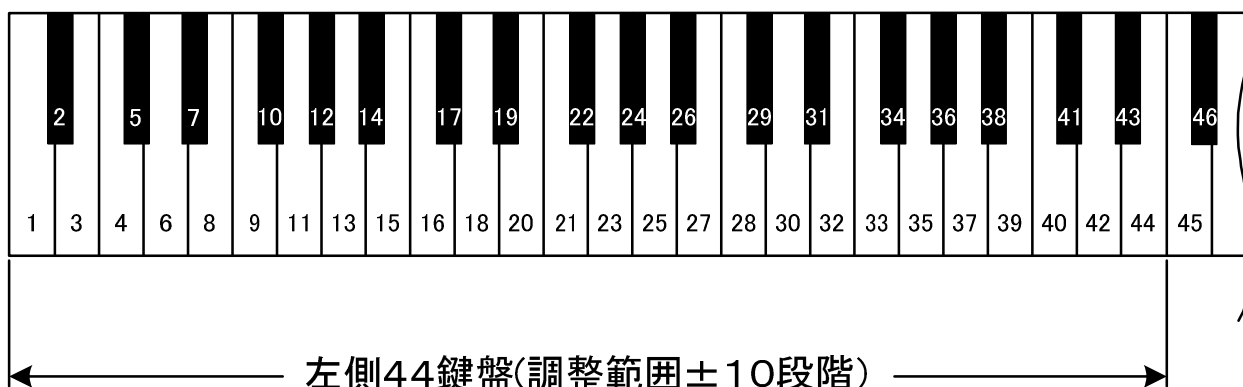
10-3 各鍵音量調整（左44鍵盤）

左側の44鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は±10段階です。（出荷設定±0）

設定方法

- (1) 音量レベルを上げたい時は○印の鍵盤と＋印の鍵盤を押しながら電源を入れます。または、音量レベルを下げたい時は○印の鍵盤と－印の鍵盤を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。尚、○印の鍵盤と＋印（または－印）の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 左側の44鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。1度押されることで、音量レベルが（1）で選択した側に1段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



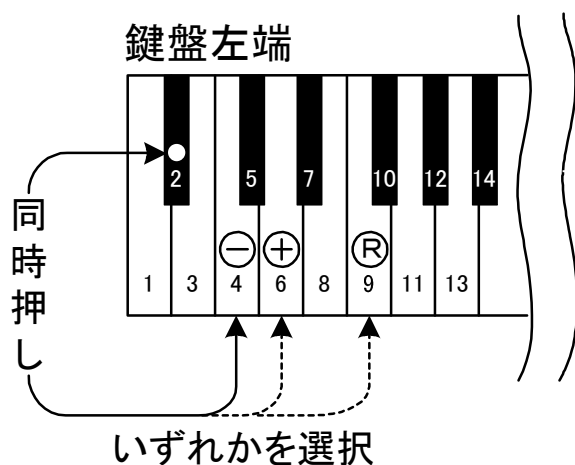
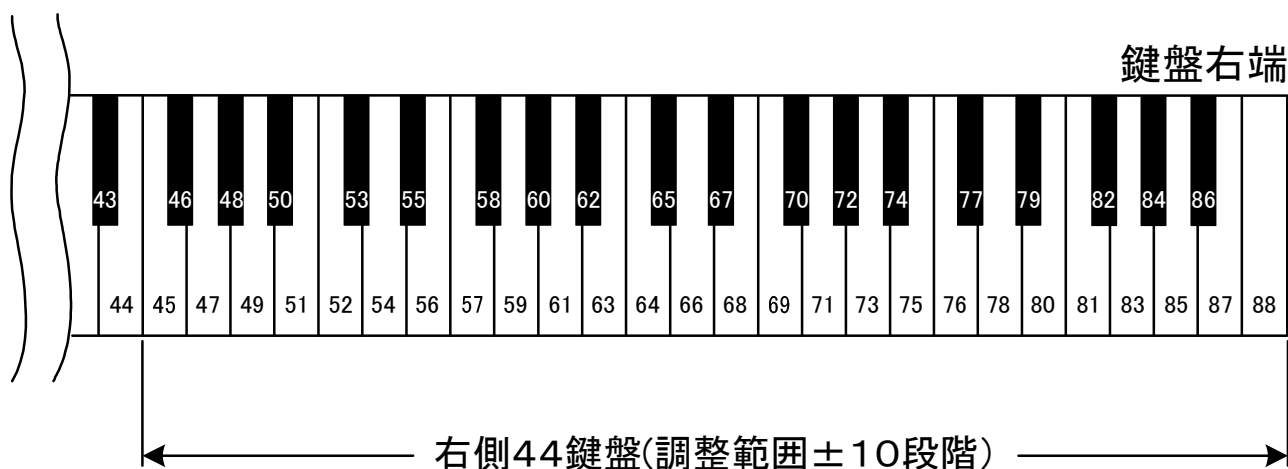
10-4 各鍵音量調整（右44鍵盤）

右側の44鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は±10段階です。（出荷設定±0）

設定方法

- (1) 音量レベルを上げたい時は○印の鍵盤と＋印の鍵盤を押しながら電源を入れます。または、音量レベルを下げたい時は○印の鍵盤と－印の鍵盤を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。尚、○印の鍵盤と＋印（または－印）の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 右側の44鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。1度押されることで、音量レベルが（1）で選択した側に1段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

全88鍵盤の調整内容をリセットしたい時は、○印の鍵盤とR印の白鍵を押しながら電源を入れることで出荷設定（±0）に戻ります。



10-5 チューニング

出荷時は440Hzに設定されています。下記の操作で変更が可能です。

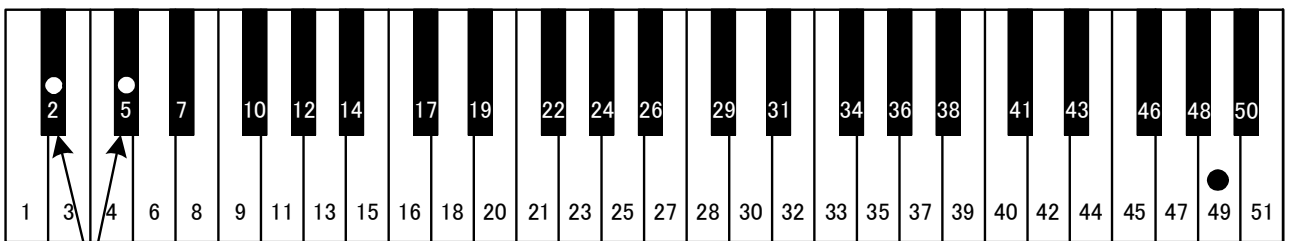
設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表の`チューニングの設定`より●印の鍵盤にて本機が発音する音程を、+、-の鍵盤を使って設定します。

+の鍵盤は1回の打鍵毎に約0.5Hz (最大+13Hz)
-の鍵盤は1回の打鍵毎に約0.5Hz (最大-13Hz)

- (3) チューニングが終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に合わせた音程が設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



押したまま電源を入れる

鍵盤の内容
これを押すと440Hzに戻る
-の鍵盤
発音(427.0~440~453.0Hz)
+の鍵盤

←→
チューニングの設定

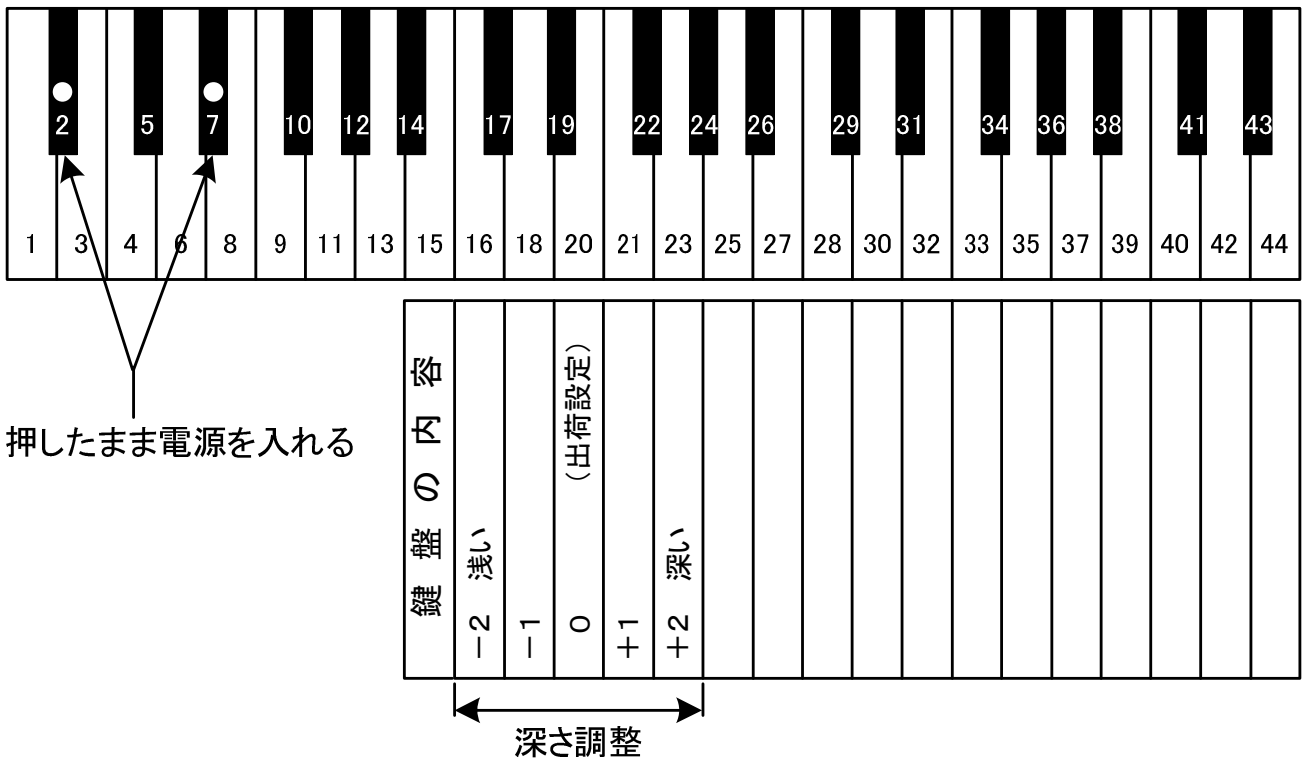
10-6 鍵盤深さ設定

鍵盤を弾いたときの発音位置の深さを設定します。

鍵盤深さ設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より、発音位置を浅くしたい場合は-側を選択します。また、深くしたい場合は+側を選択します。発音位置を浅くすると発音タイミングが早くなります。
- (3) ○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した発音位置が設定されます。

鍵盤左端



10-7 ペダル調整

各種ペダルの機能がオンになる深さを調整します。
また、ダンパーペダルの機能が選択できます。

設定方法

- (1) ○印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。調整モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印と●印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 調整するペダルを踏み、機能をオンさせたい深さで止めます。プロポーションナル時は完全にオンする深さになります。
- (3) そのままの状態再生ボタンを押します。チャイムが鳴り、ペダルの深さを記憶します。
- (4) 下記鍵盤表より、ダンパーペダルの機能を選択します。
ON/OFFはONとハーフとOFF、プロポーションナルは踏み込まれた量に合わせてダンパー機能が働きます。
※ON/OFFを選択時は、(3)で調整したペダル深さの少し手前（浅い位置）からハーフ機能が働きます。
- (5) ○印と●印の鍵盤から指を離します。

鍵盤左端



10-8 鍵盤連打設定

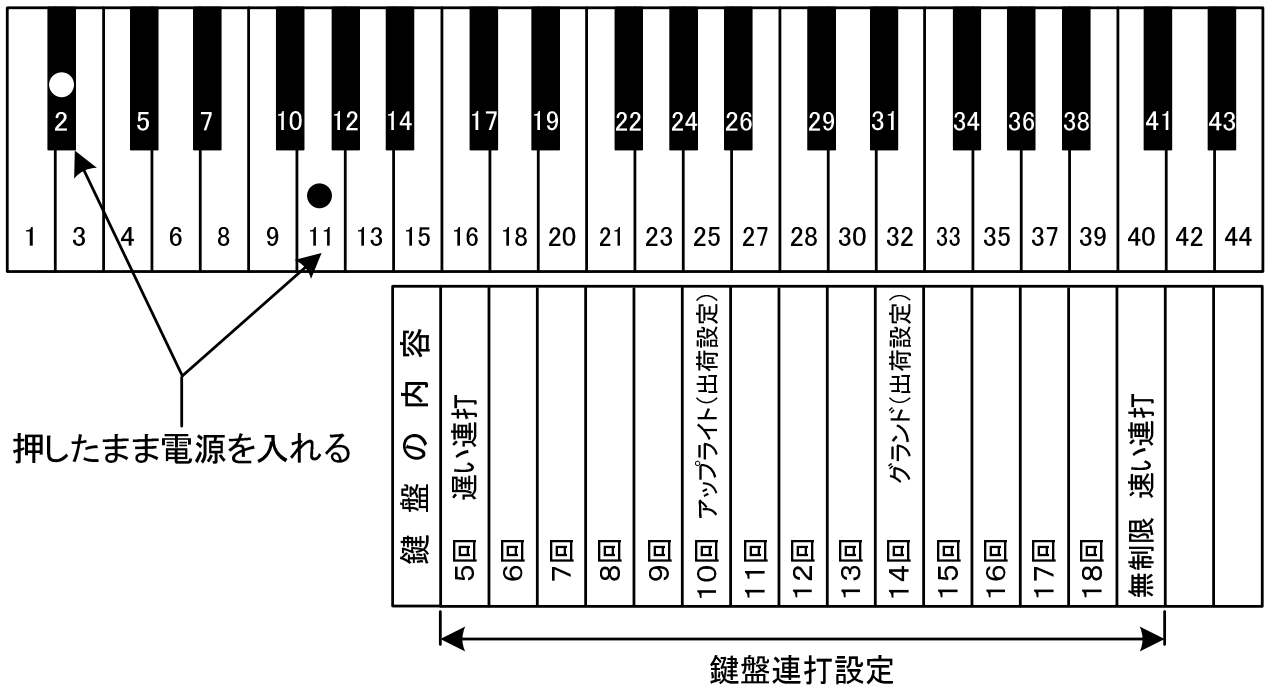
1秒間に連打できるおおよその回数を設定します。お手持ちのピアノの連打の弾き心地に近くなるように設定します。

設定方法

- (1) ○印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印と●印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より好みの回数を選択します。
- (3) 選択が終了したら、○印と●印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した回数に設定され、電源を切っても変更されません。

注意! 連打性能が低いピアノで回数を多く設定しますと、たまに大きな音が出る場合があります。

鍵盤左端



押したまま電源を入れる

10-9 センサー調整

メンテナンス等で鍵盤センサーやペダルセンサーのセンサー感度を再調整する必要がある場合に実施します。ピアノの状態やセンサーの状態は、温度や時間によって変化することがあります。違和感があったときや、長期間演奏しなかった場合は、センサー調整を行って下さい。

設定方法

- (1) 録音ボタン、再生ボタンを同時に押しながら電源を入れます。録音ランプと再生ランプが交互に点滅して、調整モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) ダンパーペダルを一番深い位置までゆっくりと踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴りますので、確認できましたらソフトペダルも同様に踏み込みます。踏み込む順番は問いません。尚、再調整が必要なペダルだけでも調整は可能です。
- (3) 鍵盤を一番深い位置まで一定の強さで全ての鍵盤を打鍵します。鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。打鍵する順番は問いません。尚、再調整が必要な鍵盤だけでも調整は可能です。
- (4) 打鍵や踏み込みが完了しましたら、再生ボタンを押します。録音ランプと再生ランプが消灯して、調整モードが終了したことをチャイムでお知らせします。

注意！ 必ず再生ボタンを押して、センサー調整を終了します。
誤って電源ボタンを押された場合、センサー調整は完了していませんので、最初からやり直します。

10-10 設定を初期化する

全ての設定を出荷時の状態に戻すことができます。

注意! 本設定を行いますと正常に動作しなくなります。復帰させるには初期設定が必要ですので、実施される前に必ずお買い上げ店へご相談下さい。
初期化を実施した場合には、次頁の初期設定を実施して下さい。また、タッチ調整も実施して下さい。

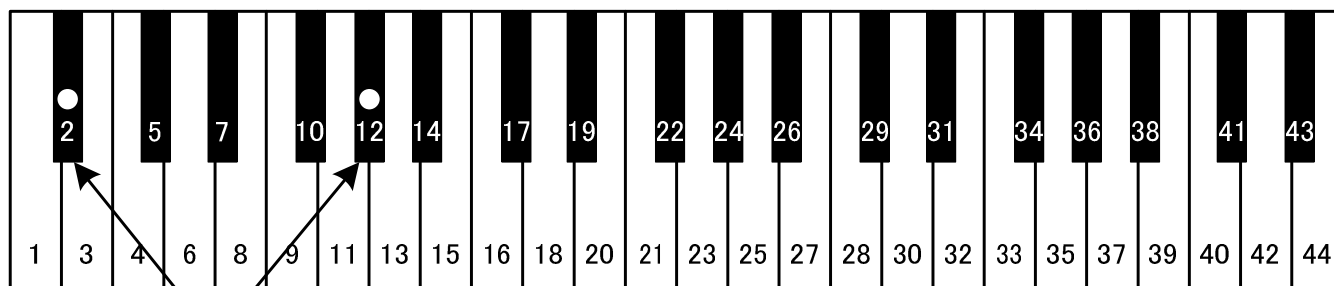
出荷設定

ユーザープリセット：デフォルト値（アプリ機能）
音色：ピアノ
リバーブ：ホール、レベル3
エフェクト：OFF
トランスポーズ：OFF
4バンドイコライザー：フラット（アプリ機能）
メトロノーム：拍子=4、テンポ=120、音量=レベル3
録音曲：全て消去
初期設定：クリア
タッチ調整：4
黒鍵音量調整：0
各鍵音量調整：全88鍵盤±0
チューニング：440Hz
鍵盤深さ設定：0
ペダル調整：クリア
鍵盤連打設定：アップライト10回、グランド14回
センサー調整：クリア
オートパワーオフ：無効（アプリ機能）

設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。初期化開始したことをチャイムでお知らせし、録音ランプと再生ランプが点滅します。
- (2) ○印の鍵盤から指を離し、録音ランプと再生ランプの点滅が完了した後、電源を切ります。

鍵盤左端



押したまま電源を入れる

初期設定操作方法

- (1) 設定を初期化した後、電源を入れると録音ランプと再生ランプが交互に点滅して、初期設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) ダンパーペダルを一番深い位置までゆっくりと踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴りますので、確認できましたらソフトペダルも同様に踏み込みます。
- (3) 鍵盤を一番深い位置まで一定の強さで全ての鍵盤を打鍵します。鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。
- (4) 全鍵盤の打鍵と両ペダルの踏み込みが完了しましたら、再生ボタンを押します。録音ランプと再生ランプが消灯して、初期設定モードが終了します。
- (5) 打鍵されていない鍵盤、踏み込まれていないペダルがあればチャイム音は鳴らずに、鍵盤は音程で、ペダルはピアノ音色以外の音が鳴るので、音程の打鍵やそのペダルを踏み込んで、再度再生ボタンを押してください。

注意! 設定を初期化するとタッチ調整も初期化されるため、ピアノに合わせて再度調整して下さい。

11. スマートフォン接続

ANYTIME AK-01はスマートフォンとの接続により、録音や再生、各種設定の操作が可能になります。

11-1 iPhone接続

接続方法

(1) 専用アプリ『ANYTIME AK-01』をダウンロードします。
(対応OS：iOS9.0以上)

○ホーム画面に『Anytime AK-01』が追加されます。



(2) iPhoneのBluetooth設定を以下のように変更します。

○ホーム画面より「設定」をタップします。



○設定画面より「Bluetooth」をタップします。



○Bluetoothを「オン」に設定します。



(3) 専用アプリ『ANYTIME AK-01』を起動します。

○ホーム画面より『Anytime AK-01』をタップします。



○「サウンド」画面が表示されます。



⚡マークはANYTIME AK-01本体と接続中であることを表しています。

「ANYTIME AK-01」になっていることを確認します。
「未接続」となっている場合は、下記(4)の方法で接続させます。

(4) 専用アプリのBluetooth設定を以下のように変更します。

○Bluetoothをタップします。

○「ANYTIME AK-01」をタップします。

○「接続済み」に変わります。



(5) ANYTIME AK-01本体の電源ランプが点滅を開始したら接続完了となります。

1 1 - 2 Android接続

接続方法

- (1) 専用アプリ『ANYTIME AK-01』をダウンロードします。
(対応OS : Android 6.0以上)

○ホーム画面に『Anytime AK-01』が追加されます。



- (2) Android端末のBluetooth設定を以下のように変更します。

○ホーム画面より「設定」を
タップします。



○接続をタップします。



○Bluetoothと位置情報を
「オン」に設定します。



(3) 専用アプリ『ANYTIME AK-01』を起動します。

○ホーム画面より『Anytime AK-01』をタップします。

○初回の起動時に位置情報へのアクセス許可画面が表示されますので、「許可」をタップします。



○2回目以降はサウンド画面が表示されます。

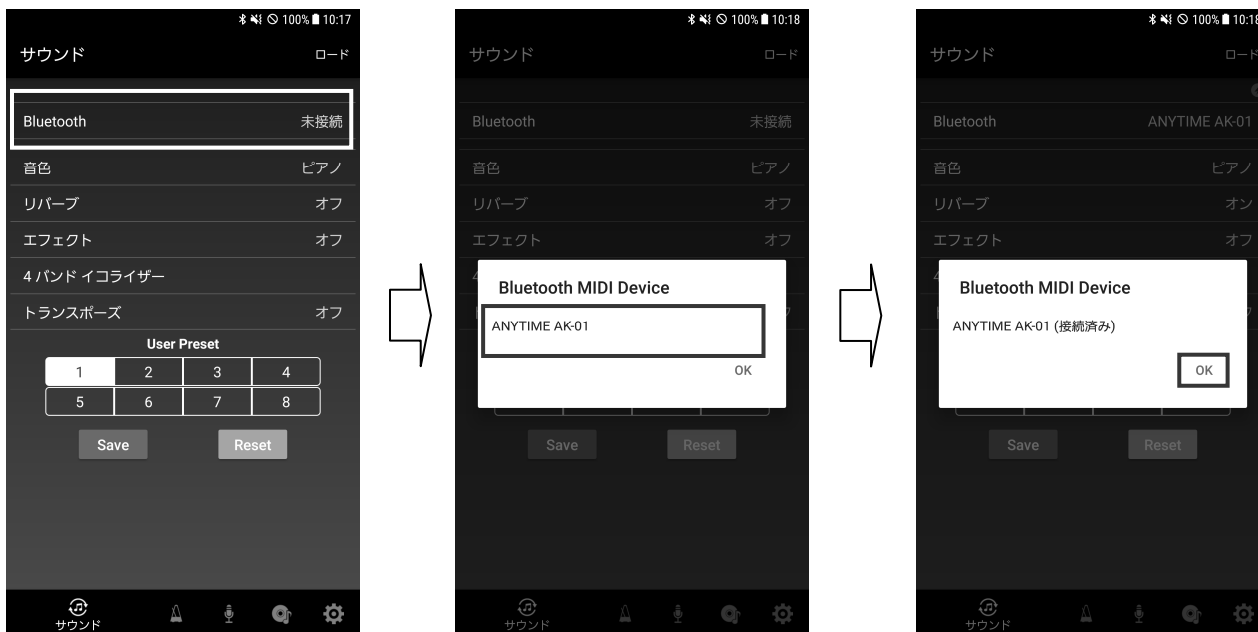


⚡のマークはANYTIME AK-01本体と接続中であることを表しています。

「ANYTIME AK-01」になっていることを確認します。
「未接続」となっている場合は、下記(4)の方法で接続させます。

(4) 専用アプリのBluetooth設定を以下のように変更します。

- Bluetoothをタップします。 ○「ANYTIME AK-01」をタップします。 ○「接続済み」に変わりましたら、OKをタップします。



(5) ANYTIME AK-01本体の電源ランプが点滅を開始したら接続完了となります。

注意! 専用アプリは、Bluetooth接続を行うために“位置情報”、録音・再生を行うために“ストレージ”へのアクセス権限が必要ですが、アプリ内では位置情報は使用していません。

尚、アプリの取り扱いについては、アプリ本体をダウンロードする際のアプリ紹介ページで参照できます。

1 2 . U S B

市販のUSBケーブル（A-miniB）を使用してパソコンやiPhone・iPadとの接続が可能です。接続すると自動的にMIDIドライバがインストールされます。

iPhone・iPadの接続には別途Lightning-USBカメラアダプタも必要になります。

注意！ Android端末とのUSB接続はサポートしていません。

●パソコンと接続した場合

パソコンと接続することでパソコンのMIDIデータをANYTIME AK-01の音源で鳴らすことができます。また、ANYTIME AK-01で演奏した情報をMIDIデータとしてパソコンに送信して、データの編集や保存ができます。

MIDIチャンネルの仕様

ANYTIME AK-01では、鍵盤による演奏データをMIDIチャンネル1へ出力、録音したデータの再生はMIDIチャンネル2を使用、ペダルの共鳴音はMIDIチャンネル3と4を使用しています。パソコンからANYTIME AK-01へMIDIデータを送る際は、チャンネル1、2、3、4を避けてMIDIメッセージを送信して下さい。チャンネル1にデータを入力して音色が変更された場合は、音色選択ボタンをお使いいただくことで元の音色に戻すことができます。

MIDIとは

Musical Instrument Digital Interfaceの略で、楽器の演奏情報や音色の切り換え情報などを伝送することができる世界統一の規格です。

●iPhone・iPadと接続した場合

専用アプリ『ANYTIME AK-01』を使って、簡単に操作や設定を行うことができます。

1 3 . Bluetooth MIDI

ANYTIME AK-01は、Bluetooth MIDI規格に対応しており、GarageBandなどのiPhone/iPad/Macの音楽制作アプリや、Androidの音楽制作アプリとワイヤレスで接続し、MIDIデータを入出力することができます。

ANYTIME AK-01をBluetooth MIDIで接続するには、各アプリのBluetooth MIDIデバイスの設定で、“ANYTIME AK-01”を選択して下さい。

注意! WindowsのBluetooth MIDIはサポートしていません。

● Bluetoothに関するご注意

Bluetooth機能が使用する2.4GHz帯は、さまざま機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

13-1 MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック電源ON時	1	1-16	
チャンネル設定可能	x	1-16	
モード電源ON時	3	3	
メッセージ	x	x	
代用	*****		
ノート	21-108	0-127	
ナンバー: 音域	*****	0-127	
ベロシティ ノート・オン	○	○	
ノート・オフ	○	○	
アフターキー別	x	x	
タッチチャンネル別	x	○	
ピッチ・ベンド	x	○	
コントロール	○	○	ダンパーペダル
チェンジ	○	○	リフティングペダル
	○	○	ソフトペダル
		○	バンクセレクト
		○	モジュレーション
		○	ポルタメントタイム
		○	データエントリ
		○	ヴォリューム
		○	パン
		○	エクスプレッション
		○	ポルタメント オン/オフ
		○	リバーブ
		○	コーラス
		○	オール サウンド オフ
		○	NRPN LSB, MSB
		○	RPN LSB, MSB
プログラム	○	○	
チェンジ:設定可能範囲	*****	0-127	
エクスクルーシブ	○	○	
:ソング・ポジション	x	x	
コモン :ソング・セレクト	x	x	
:チューン	x	x	
リアル :クロック	x	x	
タイム :コマンド	x	x	
:ローカルON/OFF	x	x	
その他 :オール・ノートオフ	x	○	
:アクティブセンシング	x	x	
:リセット	x	x	
備考			

モード1 : オムニ・オン、ポリ
 モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
 モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり
 x : なし

14. 本体仕様

同時最大発音数	247音	
音色数	128音色（ピアノ、エレクトリックピアノ、チャーチオルガンなど）	
内蔵デモ曲	10曲	
メトロノーム	拍子、テンポ、音量の調整が可能	
録音・再生	録音：10曲、録音容量 約10,000音／曲 再生：変速再生（0.5～2倍）	
ペダル	ダンパー	プロポーションナル、ON／OFF（ハーフ対応）
	ソフト	ON／OFF
リバーブ	ルーム、ホール	
エフェクト	コーラス、ロータリー、ディレイ	
トランスポーズ	±24半音	
4バンドイコライザー	±10dB	
チューニング	440±13Hz（427～453Hz）	
各種設定・調整	タッチ調整、鍵盤音量調整、チューニング、鍵盤深さ設定 ペダル調整、鍵盤連打設定など	
外部端子	アナログ	ヘッドホンジャック×2、ライン出力×1
	デジタル	USB2.0スレーブ（MIDI）
無線インタフェース	Bluetooth4.0LE	
電源電圧	DC+12V（専用ACアダプタ）	
消費電力	6W	
本体寸法	幅143mm×奥行き79mm×高さ27mm（突起物含まず）	
付属品	ヘッドホン、ACアダプタ、取扱説明書（本書）	
専用アプリ※1	ANYTIME AK-01（iOS9.0以上、Android6.0以上に対応）	

※1：専用アプリをスマートフォンにダウンロードすることで、各操作や設定、調整がスマートフォンの画面上で行えます。

●製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

15. 困ったときは？

●録音ランプと再生ランプ点滅のまま全く動作しない

- ・初期設定状態ですので、全鍵盤を強打での打鍵と全ペダルの踏み込みを行った後、再生ボタンを押して下さい。

●電源が入らない（電源ボタンを押しても電源ランプが点灯しない）

- ・ACアダプタは正しく接続されていますか？コンセント側と本製品側の両方をご確認ください。接続されていても、抜けかかっていることがあります。一度抜いて接続し直してみてください。（P. 9参照）

●スマートフォンと無線接続ができない

- ・スマートフォンのBluetoothの設定はオンになっていますか？（P. 32参照）
- ・ANYTIME AK-01アプリケーション内のBluetoothの設定はオンになっていますか？（P. 33参照）

●ヘッドホンから音が出ない

- ・ボリュームが最小になっていませんか？
- ・ヘッドホンジャックは最後まで差し込まれていますか？

●ある鍵盤で音が鳴らない、大きい、小さい

- ・センサー調整がずれている可能性がありますので、センサー調整を行って下さい。（P. 29参照）

●音が抜ける

- ・ダンパーペダル（右端のペダル）を踏みながら、多くの鍵盤を弾くと最大同時発音数（本製品が同時に出せる、最大の音の数）を超えてしまい、音が消えることがあります。

●チャイムが鳴らない

- ・指定された以外の鍵盤も押したまま電源を入れていませんか？

●消音していてもピアノから生音がもれる

- ・止音レバーを手前に引いていますか？（P. 9参照）
- ・和音を強打で弾いた場合に、ピアノの音ももれることがあります。

●ペダルを踏んでも効かない

- ・センサー調整やペダル調整がずれている可能性がありますので、センサー調整やペダル調整を行って下さい。(P. 27, P. 29参照)

●メトロノームのテンポが設定されない

- ・テンポの入力で4ケタ以上の入力をしたたり、3ケタ未満の入力の場合は設定されません。その場合はもう一度最初の手順から設定し直して下さい。(P. 18参照)

●電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。

- ・オートパワーオフを設定されていませんか？
設定の確認や変更はアプリケーション内の操作でのみになります。

16. 末永くご使用頂くために

本製品の性能を損なうことなく、末永くご使用頂くために、ピアノの「調律」や「整調」と同様に、下記のお手入れを取り付け業者にご依頼下さい。

1. 鍵盤センサーやペダルセンサーのセンサー部の清掃
2. 鍵盤センサーの高さ調整やペダルセンサーの位置調整
3. 鍵盤センサーやペダルセンサーのセンサー調整

株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
<http://www.kawai.co.jp/>

■お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆ お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆ お客様サポート・お問合せフォーム

<http://www.kawai.jp/> より「お客様サポート」へお進み
ください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。